

一、個人経歴

2019 年、私は海南大学の高技能プログラムを通じて亜細亜友之会外語学院に来ました。当初は海南大学卒業後すぐに日本に戻って試験に備える予定でしたが、コロナ感染症の流行のため、2022 年 4 月にやっと日本に入国できました。大学での専攻はビジネス英語でしたが、将来の就職や元々の専攻との関連性などを考慮し、大学院で経営学修士を受験することにしました。私は 2022 年の夏入試開始前にすでに日本語 N1 試験に合格し、TOEIC のスコアも取得しましたが、人気の経営学の競争率は想像をはるかに超えており、その後の試験も厳しいものでした。

夏入試では 4 校受験しましたが、残念ながら全て不合格でした。これは私にとって大きな打撃でしたが、それでも覚悟を決めて、もう一度冬入試に挑むことにしました。夏入試が終わった 9 月末から必死に専門書を読み、2 ヶ月で 5~6 冊ほど読んで知識体系を完成させました。試験前には大澤先生によく宮原先生、岩崎先生と模擬面接を受けていただき、その回数は数え切れないほどでした。校長先生も最後の面接を手伝ってくれて、正式面接の緊張や心理的プレッシャーを和らげるのに大いに役立ちました。結局、冬入試で名古屋大学と埼玉大学に合格しました。この 2 つの国立大学は面接のみの学校ですが、試験前に先生方と面談を重ねることで答えの考え方が明確になり、試験では最も自然な状態で自分のベストレベルを発揮することができました。

今年の試験期間中、亜細亜の先生方々は私を励まし、大変ご助力をいただきました。最初の夏入試の失敗と冬入試の連続不合格は本当に大きなプレッシャーでした。特に周りの学生が次々に合格していくのを見ていると、さらに不安を感じました。結局、クラス内で受験を続けているのは私だけになってしまい、しばらくは本を読んでいるだけで泣いてしまうこともありました。しかし先生たちは「自分を信じなさい。最後には必ず運命の学校が来るよ。必ず良い結果が出るよ。」と言い続けてくれました。名古屋大学でのオンライン面接では学校の教室もお借りし、申先生には Wi-Fi や水の持参まで手伝っていただきました。特に 2022 年に入国する前は、コロナの影響で長い待ち時間があつたため、日本に来るのを諦めたくになりました。それを聞いた石川先生はすぐに私に電話をして、「前向きに頑張ってください」と言いました。今では諦めなかったことは本当に幸運なことだと思います。

ここで、これから日本で受験する学生たちに伝えたいのは、日本の試験は本当に長い長距離走であり、途中で挫折することもあるだろうが、どんな状況であっても、自分自身を諦めないでください、努力と粘り強さがあなたに大きな成功をもたらします。

二、アドバイス

(1) 言語成績と前期の準備

日本の大学院の出願手続きは非常に複雑で、特に証明書の原本が必要とされ、発行までに時間がかかります。そのため、来日前に志望校の募集要項を確認し、中国の出身大学で成績証明書と卒業証明書を取得して日本に来る時に持参すると、大幅な時間を節約できるのでおすすめです。さらに、一部の学校では学歴認証サイト「学信網」の認定が必要です。「学信網」の認証には少なくとも半月かかります。従って十分な時間的な余裕を確保する必要があります。

語学スコアに関しては、基本的に文系の大学院は N1 合格を要求します(学校によっては 2 年以内の N1 スコ

アを要求する場合もあります)。第二、経営学は研究科他の研究科に比べて英語のスコア要件が厳しくなりますので、書類審査で落とされないよう、TOEIC で 800 点、TOEFL で 80 点以上を取得したほうが良いです。

(2) 専攻知識の勉強

経営学の筆記試験は小論文です。主に知識のつながりや活用を問う小論文ですが、機械的に応用することはできないので、専門書をもっと読むことをお勧めします。読書をするとき、知識ポイントを覚えながら、論理的な文章の書き方も学ぶことができ、試験の時、充実した答えを書くことができます。そのほか、過去問を必ず確認したほうがよいです、何故なら、いくつかの知識ポイントを繰り返しテストすることを好む学校が多く、過去問をスワイプすることで学校の出題傾向が分かり、知識ポイントへの理解も深まります。ここでは経営学研究科志望の学生に、入山章栄氏の『世界標準の経営理論』という本をお勧めします。本書の内容は他の専門書に比べて非常にわかりやすく、理論も充実しています。この本には、いくつかの大学が発表した比較的珍しい理論が記載されているので、ぜひ皆さんに読んでいただくことをお勧めします。

(3) 面接

個人的には、面接対策のポイントは 2 つあるとされていて、1 つは面接原稿を書くこと、もう 1 つは模擬面接です。面接前に、14,000 ワードの面接原稿を書きました。亜細亜友之会外語学院の先生方との模擬面接で出た質問や面接で聞かれる可能性のある質問が含まれています。面接原稿を全て暗記する必要はありません、面接原稿を書くことで頭の中の知識を整理し明確にすることができ、面接時にキーワードに応じて自分の言葉で表現する方が自然になります。実際、名古屋大学と埼玉大学の面接では 9 割の質問が的中しました。

次に、試験前の模擬面接は非常に重要で、特に会話が苦手な生徒にとっては、正式な面接中の緊張を和らげるために、教師との模擬面接を何度も行う必要があります。

(4) 気持ちの調整

ここでは、試験が不安なときにメンタルを整える方法をいくつか紹介したいと思います。一つは神社に参拝に行くことです。皆さんに迷信を持ちなさいというつもりはありませんが、神社に行くというのはある種の心理暗示とも言えると思います。冬の受験前に神社で引いた、「勉強が必ず成功する」というおみくじを引いたとき、この一言がとても励みになりました。大澤先生の勧めによると、学業成功には東京の湯島天満宮が最適だという。次に、機嫌が悪いときに友人、家族、学校の先生と話すことは、ストレスを和らげる重要な方法です。最後に、本当に学習できない場合は、一時的に学習を中止しても大丈夫です。

つまり、試験のために来日する学生、あるいは試験を準備している学生は、試験のプレッシャーに圧倒されず、適切な自己調節したほうがよいです。皆様が良い大学進学できるように願っています

私はこれまでの優秀な成績により、亜細亜友之会外語学院に文科省学習奨励金予約受領者(月額 3 万円、年間 36 万円)として推薦されました。大変お世話になりました。亜細亜友之会外語学院の信頼と助けに感謝します。